

P-D-17

# 宮城県における全国がん登録への対応(第5報) 実務者の支援を目的とした届出票作成講習会の開催について

佐藤優希<sup>1,3</sup> 齋藤美登里<sup>1,3</sup> 目崎はる香<sup>1,3</sup> 佐々木真理子<sup>3</sup> 畠山怜奈<sup>3</sup>  
只野尚子<sup>2</sup> 西方萌<sup>2</sup> 鈴木智子<sup>3</sup> 金村政輝<sup>1,3</sup>



- 1 宮城県立がんセンター 2 公益財団法人宮城県対がん協会  
3 元・公益財団法人宮城県対がん協会

### 【目的】

- ・全国がん登録の届出が円滑に行われるよう説明会を繰り返し開催してきた。
- ・初年度の届出のエラーが多かったため、フィードバックを目的とした説明会を開催したが、診療情報管理士以外では理解が低かった。
- ・次の届出に向けて初めてがん登録に関わる方にもわかりやすいことを重視した、届出票作成講習会を開催した。

### 【方法】

講義と演習からなる2日間のプログラムを計6日開催した。

### Part1

#### Part1・・・がん登録特有のルール

- ・診断施設、治療施設、診断根拠、診断日、発見経緯の解説
- ・「届出票作成のおすすめ手順」を独自で作成し、ポイントを踏まえながら説明

### Part2

#### Part2・・・がんについて

- ・側性、原発部位、病理診断、進展度、初回治療の解説
- ・がんの基礎的な内容や、TNMについての説明

- ・講習会終了後、参加者を対象にアンケート調査を行い結果を評価した。

#### 質問項目 (Part1-Part2共通)

- 1 職種
- 2 講習会(講義)の理解度(5段階で評価)
- 3 講習会(演習)の理解度(5段階で評価)
- 4 講習会の時間(5段階で評価)
- 5 全国がん登録に関する意見や要望(自由記載)
- 6 全国がん登録に関する質問(自由記載)

### 【結果】

- ・Part1 42施設から60名が参加、アンケート回答59名(98%)
- ・Part2 37施設から59名が参加、アンケート回答58名(97%)



### 2 講習会(講義)の理解度



Part1について「十分理解できた」「だいたい理解できた」と回答した人は88.1%  
Part2について「十分理解できた」「だいたい理解できた」と回答した人は74.1%であった。

### 3 講習会(演習)の理解度



Part1について「十分理解できた」「だいたい理解できた」と回答した人は86.4%  
Part2について「十分理解できた」「だいたい理解できた」と回答した人は74.1%であった。

### 4 講習会の時間



### 5 自由記載(意見・要望)

### 【考察】

- ・内容の理解についてPart1で非常に高かったのに対して、Part2で低かった。
- ・Part2では、がんの診断・治療に関する十分な理解が必要であることから、改善が必要と考えられた。
- ・今まで行ってきた説明会より参加者の理解を得る事ができたため、今後も定期的に関わっていきたい。